

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 21日		～ 2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	2024年 11月 21日		～ 2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別療育のため、個々に合わせた支援プログラムを行える。</li> <li>お子様の日毎の様子、調子に合わせて支援内容を調整できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回のフィードバックの時間に保護者からお子様の直近の様子やご意見などを伺い、支援内容に反映させている。</li> <li>その子の好きなものを活用して、楽しみながら取り組んでもらうことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テスト対策、受験対策、検定対策、長期休暇中の二時間療育等、利用者のニーズに合わせた内容をより多く提供していく。</li> <li>お子様毎の理解度、達成度に応じて、支援内容やレベルを柔軟に変化させていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援後に毎回フィードバックの時間があるため、保護者様からのお話を多い頻度でお伺いできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者様からのお話に、ていねいな傾聴をいつも心掛けている。</li> <li>助言やアドバイスを求められた場合は、事業所内で相談してから回答するなど慎重な対応を心掛けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修への参加機会を増やすなどして、職員一人一人の知識や専門性を深めていく。</li> <li>職員間の連携、利用者の情報共有に努めていく。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援スペースが広いので、ブースごとに距離を取るなど、お子様の環境面を整えやすい。</li> <li>イベント時の活動やソーシャルスキルトレーニングのロールプレイ等、動く支援プログラムを実施できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パーティションを活用して、個別の活動も行える環境作りを行っている。また、その都度、机や椅子の配置を変えて、活動内容に合わせたスペースを作っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者からのご意見ご希望を伺いながら、より楽しく充実した支援を提供できるよう工夫していく。</li> <li>広いスペースを活用した、より良い利用法を検討していく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども同士の関わりが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインの支援形態が1対1の個別療育のため、子ども同士で触れ合う機会やタイミングが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子様一人ひとりの成長や実態に合わせて小集団活動を検討していき、必要に応じて積極的に小集団活動を開催する。</li> <li>自由活動時間等において職員が見守りながら、子ども同士の交流の場面を作っていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアレントトレーニングや保護者間の交流の機会が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回のフィードバック時と事業所内相談において、お話を伺っているため、改めて機会を設けることが少ない。</li> <li>通所支援のため、保護者同士のご都合が合う日時の設定が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会に関するアンケートを実施し、ニーズの調査を行う。</li> <li>保護者様のニーズに合わせて、開催を検討する。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に避難訓練を実施しているが、利用者保護者への周知が十分でない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲示物でお知らせしているが、更新頻度が多くない。</li> <li>SNSを上手く活用できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練の必要性をていねいにお伝えしながら、利用者参加型の避難訓練の回数を増やしていく。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」宇都宮海道校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 2024年 12月 21日

回収数 48

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	47	1				広いスペースをパーテーションで区切って、個別の指導訓練室としている。必要に応じて離れた場所の個室として相談室を一時的に利用し距離を置けるようにしている。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	42	3		3		今後も適正な配置基準を満たし、安全な運営を行っている。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	5	3		雨天時などは特に外階段が滑りやすい。小集団活動の際は、親が平等に見学できる席配置だと助かる。	賃貸物件の為、改修工事が難しい状況。雨天の際は、踊り場が滑りやすいので、水切りをしている。小集団については、まずはお子様の活動スペースを十分に確保し、保護者席も可能な限り広いスペースを用意できるように心がける。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	46	2				清潔な環境で療育を提供するために、日々清掃と消毒を行っている。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	45	2		1		毎回の療育の中でお子様の成長や変化を共有していく。また、個別支援計画に基づき、提供する療育方針について丁寧に説明をしていきご理解頂けるようにしていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	47	1				新規プログラムなどを開催する際は、対象となるご利用者様には必ず周知をおこなっている。また、特別プログラムやイベントの様子は教室内に掲示をしている。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	47	1				事業所で提供する療育方針については、ご本人、保護者様、事業所の三者合意の上、決定している。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	48					ご利用者様の成長や環境の変化に合わせて、その段階で必要な家族支援や地域支援の計画をおこなっている。必要な時に適切な地域資源を活用していけるように、日頃から地域連携を心掛けていく。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	48					個別支援計画をもとに毎回の療育プログラムの決定をしている。中間評価では、お子様の成長について保護者様と共通認識を持てるように聞き取りを行っている。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	40	8				事業所内だけでなくご利用者様の関係機関の情報も確認をし、総合的に現在必要な療育方針を決定している。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	21	7	16	4		今後、ご利用者のニーズを踏まえて検討していく。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	47	1				契約時に契約書・重要事項説明書の内容をもとに、保護者様の不明点などを確認しながら説明を進めている。また、書類等に変更があった場合は必ず再度説明をしてサインを頂いている。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	48					中間評価の時期には、個別支援計画を提示しながら、お子様の成長と今後の課題を確認している。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	9	2	7	ペアトレなどはないが、事業所内相談で定期的に家族への情報提供があるのでありがたい。	現在、プログラムとしての提供は行っていないが、定期的な面談は行っている。今後、ニーズの確認をしていく中で検討をしていく。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	46	2			毎回のフィードバックでお子様の成長と目標を共有している。課題については、すり合わせを行い、必要に応じて支援に取り入れている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	46	2			毎月、事業所内相談の設定のご希望を伺っている。ご希望の際は日程を調整し、実施をしている。また、必要に応じて職員から提案して実施をしている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	47	1			フィードバックや事業所内相談の際に、お話を伺いし、ご利用者のニーズを第一に支援計画を作成している。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	13	7	12	ご利用者のニーズを聞き取り、必要に応じて開催を検討していく。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	43	3		2	可能な限り、ご利用者様や保護者様が快適にご利用できるよう、ご相談やご意見については真摯に受け止め、適切な対応をとっていく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	48			0	フィードバック時は、実際に使った教具などを用いてお子様の様子を報告している。また、支援内容については保護者様とすり合わせを行いながら作成している。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	34	5	1	8	主に教室内の掲示やお便りによって、プログラムの周知や報告をおこなっている。今後、SNS等も活発に活用していきたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	46	2		0	ご契約時に個人情報の取り扱いに関する説明を行い、同意書にサインをいただいている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	36	8		4	災害等の訓練は実施してくれている。ぜひ機会があれば参加させたい。各種マニュアルに関してはファイリングしていつでも確認ができるようにしている。また、避難訓練に関しては、事業所内に掲示している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38	3		7	月に一度避難訓練は実施し、ご利用中のお子様に参加してもらうなどを行っている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	44	1		3	保護者様からもご意見を聞いて教室環境の改善に努めている。また、ヒヤリハットをもとに、教室の危険箇所が無いように確認を行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40	3	2	3	支援の中でぶつかけたり、ひっかいたりした際はフィードバックでご報告をしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	48				環境の整備やお子様の観察などを徹底し、安全に支援が受けられることを教室職員の共通認識として運営を行っている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	47	1			心の安定のために、慣れ親しんだ先生たちと会うのを楽しみにしている。毎回楽しみに通い「楽しかった」と言って帰ってくる。
	29	事業所の支援に満足していますか。	47	1			細かな支援にも工夫して支援してくれる。その時の体調や疲労に合わせてくれ、痼癖になる事が全くなくありがたい。ご利用者のニーズと成長段階での適切な課題設定を常に見極めながら支援を提供していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校			公表日	2025年 2月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		毎日、必要人員を満たした状態で運営を行っている。職員の数に応じて、各時間の受け入れ人数の調整をおこなっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		小さいお子様がトイレの便器に座るための椅子や、自由にジャンプなどができるように運動マット用などを用意している。	事業所外の階段は急なため、必要に応じてご利用者様に職員が付き添っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		清潔な環境で療育を提供するために、日々清掃と消毒を行っている。また、季節に応じて室温や湿度の調整も行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		その都度、机や椅子を移動させながら、利用者に合わせたスペースにしている。また、相談室（半個室）を一時的に活用して集中できるスペースを提供している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画に沿った短期目標を利用者様ごとに設定し、全職員で到達度を確認している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		本アンケートを基に、保護者様のご意見を事業所運営に反映していくように努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて随時実施しており、改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価を受け、その結果をもとに職員全体で見直し、改善に取り組んでいる。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		法人内部での研修は、積極的に参加し教室内で意見交換の材料としている。また、外部での研修や見学会などにも参加し、教室への落とし込みをおこなっている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ご利用者の様子や発達段階、保護者様のニーズに合わせて職員間で共有し意見を出し合いながら支援プログラムを設定している。また、毎回の活動の後に実施したプログラムについて保護者様にご報告をしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		既定のアセスメントシートを用いてアセスメントを行っている。それを踏まえてお子様の成長や発達段階、ニーズと合わせて個別支援計画の作成をおこなっている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画作成には全職員が関わっており、日々の活動の様子や成長を踏まえて新規目標が設定されている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		保管用のファイルの他に、利用者ごとの個別ファイルを作成し、支援に入る前に確認することができるようになっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		基本的には既定のアセスメントシートを用いてアセスメントしており、ミーティングの場で、行動監察の結果なども共有している。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		報酬改定の合わせて、新規個別支援計画の内容や各種支援のねらいを教室全体で確認し共有している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的にミーティングをしている。利用者の発達に応じたプログラムの立案をしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ひとつの教材でも、使い方を変えて様々な課題に活用できるようにしている。また、活動内容に応じて個別や集団など活動規模も変更している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本的には個別でお子様一人一人に合わせた支援を実施している。SSTや就学準備のためのプログラムなど集団の中で発揮される能力をばくむ活動では小集団を組んで実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前活動の申し送りを行っている。また必要に応じて、職員間・教室間単位で打ち合わせを行い、一貫した支援内容を提供できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		お子様の課題への取り組みやその時の様子から、難易度の変更や別の手段も含めてすり合わせをしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援は支援記録を残し、いつでも職員全てのパソコンから確認ができるようになってきている。必要に応じて職員間、教室全体でミーティングを持つことができている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		毎月該当の利用者のモニタリングを実施している。作成時には、職員間で相談などをして目標を決定している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		自立支援に向けたサポート、創作活動、余暇の提供を中心に支援を行っている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		支援内容の順番や量を話し合っ決めて取り組みも行っている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者またはサービス管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関協議による学校訪問を行い、利用者の情報共有、相談を担当者と行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎サービスを行っていないため、送迎される保護者様との連絡調整を行っている。年間の行事予定については都度確認して対応している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		関係機関連携による訪問時や電話連絡等で行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			障害福祉サービス事業所等へ移行した利用者が今のところいないが、必要に応じて情報を提供していく予定である。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		見学会や研修等に、積極的に参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		保育所等との交流する場合はサービスとして提供できていない。	現在、プログラムとしての提供はない。ニーズを聞き取り必要に応じて検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		地域の情報を把握し、地域との接点を今後も増やしていく。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の支援後のフィードバックや事業所内相談の際に、事業所での活動の様子や、ご家庭・園の様子をお伺いして情報共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		現在、プログラムとしての提供は行っていないが、定期的な面談は行っている。今後、ニーズの確認をしていく中で検討をしていく。	現在、プログラムとしての提供はない。ニーズを聞き取り必要に応じて検討する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約時、また受給者証の更新時など、保護者様が理解がしやすいよう丁寧な説明を心掛けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		現在事業所で見られている成長や課題と、実生活環境での様子を照らし合わせながら作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画の更新時には必ず保護者様の同意のもと、新しい計画書を作成している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		毎月、事業所内相談の実施ご希望をお聞きし、実施している。必要に応じて職員から提案させて頂くこともしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会を実施し、保護者同士で育児の悩みや進路等について話し合いができる場を作っている。	父母の会などは開催しているが、回数が頻繁ではない現状がある。ご利用者様のニーズを聞き取り、必要に応じて開催を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		管理者を窓口として、相談や申入れをお受けしている。支援に関する相談等は、事業所内相談でお受けし職員全体で共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		主に教室内の掲示やお便りによって、プログラムの周知や報告をおこなっている。今後、SNS等も活発に活用していきたい。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に関するファイル保管に関しては、事務所のロッカー（鍵つき）に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚・聴覚・触覚等、お子様一人ひとり受け取りやすい情報の形で伝えるよう心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ご利用者様以外に向けて、無料の体験プログラムをご用意している。	地域の情報を定期的に収集し、必要な時に活用できるようにしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		教室内には、避難マップを掲示し避難訓練を実施した様子も掲示している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法人内のBCP委員会への参加をし、教室内でも共有・ディスカッションを行っている。毎月違うテーマで避難訓練の実施も行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用時に服薬することはないが、服薬の種類や量などは保護者様から聞き取りを行っている。てんかん等についても、できる活動しない方が良い活動などを聞き取り支援を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		飲食物の提供をしていない。	飲食物の提供をしていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画委員会をもちに、教室内で危険につながる場所の確認やそれらの対策などを話し合い改善に務めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		外階段での事故を防ぐために注意喚起の呼び掛けや張り紙、滑り止め用マットの設置などをおこなっている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ケガにつながるなかったケースにおいても意識的にヒヤリハット報告書を作成し、防止策の検討に役立てている。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止・権利擁護委員会を設置し、研修等を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約書、重要事項説明書、また個別支援計画に身体拘束に関する記載をし周知を行っている。	